

備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。
そなえる…用意する、そろえる、用心する
防備。常備。完備。不備。具備。兼備。
そなえ…したく、用意。警戒、防御
備品。設備。備蓄。備員。備考。備忘。
そなわる…準備ができる、身に付く
●●●ソナエ アレバ ウレイナシク

no. 22

かわさき
防災広報紙

昭和61年5月31日発行
編集・発行:
川崎市土木局防災対策室
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL.(044)200-2111内線2841



なに?

防災つて、

ふだんから、備える。

◎梅雨どきなどの集中豪雨や、台風の進路は、
テレビやラジオの天気予報で、ある程度まで
予測できます。出かけるとき雨具の心配をす
るよう、へわが家の防災対策も、お忘れ
なく!

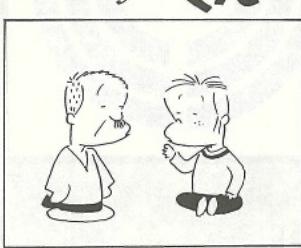
◎防災とは…単にそれらの災害を防ぐことだけ
ではなく、被害を最小限に抑えること、被害
が拡大するのを防ぐことです。

◎忘れたころにやつてくる、さまざまの災害。
科学技術が高度に発達した今日でも、地震な
どの自然災害は、避けることができません。

1986 6 1 日 2 火 3 水 4 木 5 金 6 土 7 日 8 月 9 火 10 水 11 木 12 金 13 土 14 日 15 月 16 火 17 水 18 木 19 金 20 土 21 日 22 月 23 火 24 水 25 木 26 金 27 土 28 日 29 月 30

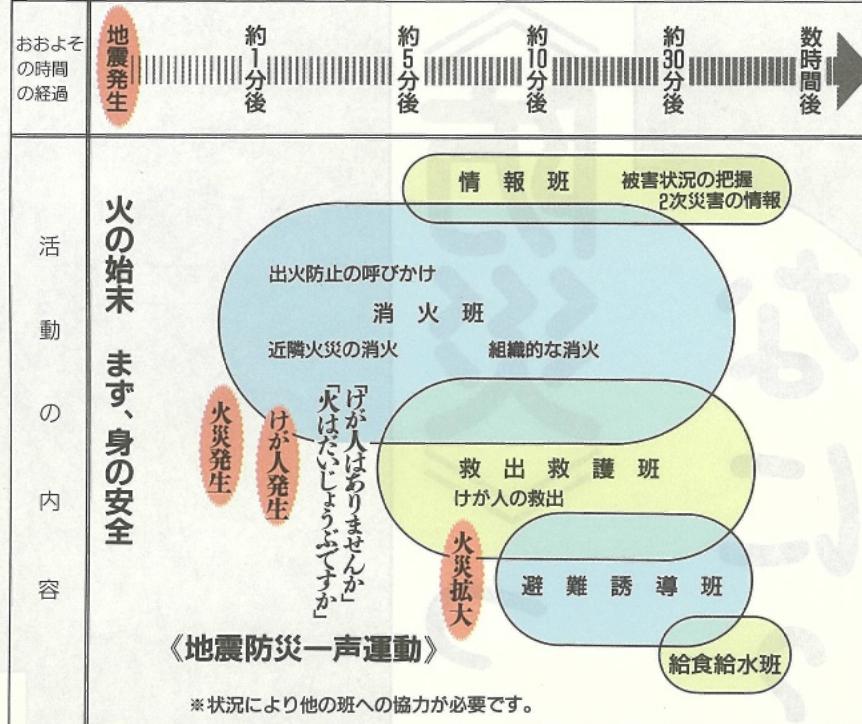
★ 毎月15日は川崎市民地震防災データです ★

ホーサー君

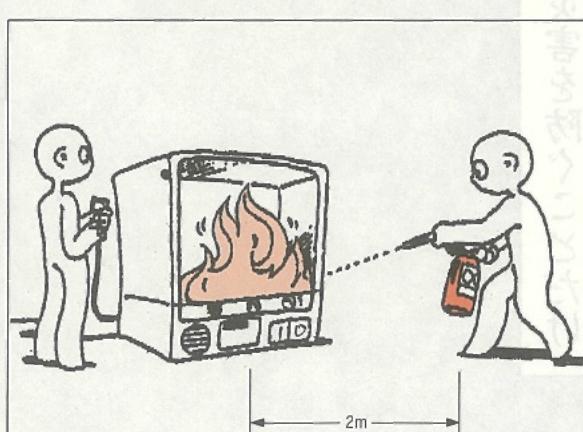


- さしつけまつた状況の中で、自分自身や家族、隣近所の人などに危険がせまつたとき……**
- ① 防災機関の活動を待つことなく、自分で身を守る
 - ② 隣近所の人が力をあわせる
 - ③ 出火防止、初期消火、被災者の救出救護を行う
 - ④ 自分たちの地域は、自分たちで守る（自主防災組織）

地震発生時の自主防災組織の活動



「消火マスター」で、消火訓練を！



消火に要した時間が表示されます（10秒で“優秀消防士”）

◎南部防災センター見学ご希望の方は

川崎区小田7-3-1

電話=355-2175

交通機関=川崎駅前東口9番バス乗り場

臨港バス 富士電機行

「小田小学校前」下車徒歩6分

- ① 電話が不通となり、防災機関への通報がむづかしくなる
- ② 道路に地割れができたり、建物が倒れたりして、緊急自動車の通行が困難となる
- ③ 多くの火災が発生するので、消防隊が分散され、消防活動が手薄になる
- ④ 水道管の破損や停電による断水などにより、消防活動が十分に行えなくなる
- ⑤ 多くの人が出ると救急車の活動が思うようにできなくなる

- ① 電話が不通となり、防災機関への通報がむづかしくなる
- ② 道路に地割れができたり、建物が倒れたりして、緊急自動車の通行が困難となる
- ③ 多くの火災が発生するので、消防隊が分散され、消防活動が手薄になる
- ④ 水道管の破損や停電による断水などにより、消防活動が十分に行えなくなる
- ⑤ 多くの人が出ると救急車の活動が思うようにできなくなる

（大地震）がおこつたら…

自主防災組織の防災訓練をしましょう

- ひとりでも多く参加しましょう
- 誘われれば参加する人は多いと思います。隣近所に声をかけて大勢参加しましょう。

- 災害時の行動力を身につける
- 防災活動に必要な知識・技術を身につけ、いざというとき行動に移せるよう、防災訓練をくりかえし行いましょう。

- 訓練を実施するときは、区役所（総務課）に届け出、関係機関の指導を受けましょう。
- 市では、防災資器材の購入補助、防災訓練等活動助成金の交付、訓練の指導を行っています。

そのとき、その場でレッスン② 「電車に乗っていたら」



- 乗員の指示に従い、あわてて外に出ない
- 外に出て避難するときは、垂れ下がっている電線に触れない
- 地震が起きたら、背もたれ、吊り革、柱などにつかり、身を守る

- 地震が起きたら、背もたれ、吊り革、柱などにつかり、身を守る
- 乗員の指示に従い、あわてて外に出ない
- 外に出て避難するときは、垂れ下がっている電線に触れない

『地震も恐いけど火事の方がもつと恐い』

関東大地震 大正12年（1923）「11時58分」（臨港消防署編）から
青木きくさん（当時19歳）
市内東渡田5丁目32番地（当時）

体験談 その22

『川崎市南部り災者の声』

は原っぱが多くたせいか蚊がひどくて、身体中がでこぼこになる位刺されたものです。

飲料水や食糧には非常に苦労しました。お店に行つても雨戸がしまっていて商売をやっていないんです。当時はまだ水道もございませんでしたから、井戸を利用しておりました。9月1日の当日が旧川崎市内に初めて水道が通じ、その通水式の日であつたのも皮肉といわなければなりませんでした。

火災の方は夏だったせいもあるでしょうけど、少なかつたのは不幸中の幸いでした。東京は、地震そのものより火災の被害の方が大きかつたわけです。地震も恐いけど火事の方がもつと恐い。

今でも私は寝る前に枕もとに大切なものをきちんと整理しておきます。でも備えあれば愁いなしのたとえもありますよ。たとえ気休めでも私は心がけています。

（一部省略）

前ぶれもなく、突然おこる地震。「東海地震の予報ともいえる（警戒宣言）が出てから準備しても間に合う」と考えていると、後悔先に立たずになりかねません。ふだんから、くりかえし備えておきましょう。